

# 1号機タービン建屋の循環注水ラインとの切り離し

2016年 2月25日  
東京電力株式会社

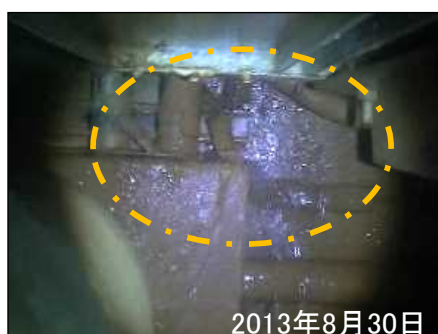


東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

## 滞留水処理に関する取組状況

- 建屋滞留水の建屋外への漏えいを防止するため、周辺地下水位より建屋滞留水水位が低くなるよう水位管理を実施している。
- 周辺地下水位については、汚染水発生量を極力減らす観点から、2015年9月以降サブドレンを稼働させ、地下水位を制御しながら段階的に低下させている。
- また、建屋滞留水水位については、これまでタービン建屋のみに設置された移送ポンプにより滞留水を移送してきたが、2015年8月から、各建屋に移送ポンプを追加設置するとともに、水位計を増やし、設備信頼性・制御性・監視機能強化を図り、段階的に低下させている。
- 上記の取組により、建屋内への流入が確認されていたコントロールケーブルダクトからの流入がなくなったことを2015年11月に確認された。



1号機コントロールケーブルダクトからの流入状況

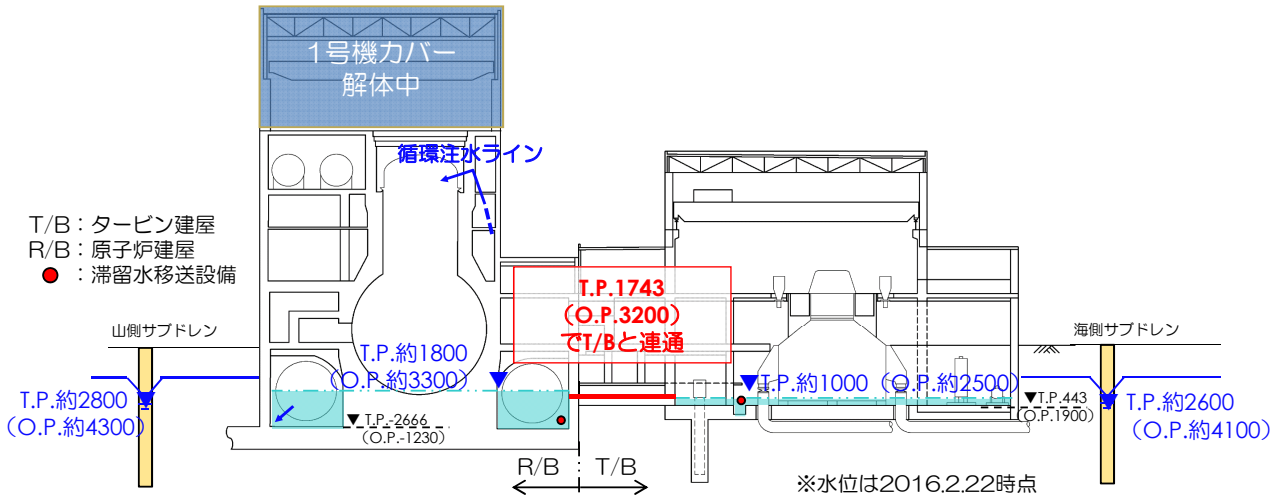


東京電力

無断複写・転載禁止 東京電力株式会社

# 1号機タービン建屋の循環注水ラインとの切り離し

- 1号機タービン建屋（T/B）内の滞留水水位はT.P.1000（O.P.2500）程度まで低下させており、1号機原子炉建屋（R/B）内の滞留水水位は、滞留水移送ポンプにより段階的に水位を低下させている。
- 循環注水を行っている1号機R/B水位を、隣接する1号機T/BにおけるR/BからT/B間の連通箇所であるレベルT.P.1743（O.P.3200）以下まで低下させ、1号機T/Bの循環注水ラインからの切り離しを2016年3月上旬に実施する。
- これに伴い、循環注水ラインからの汚染水が原子炉建屋からタービン建屋へ連通しなくなる。今後、1号機タービン建屋内の滞留水を減少させていく。



## スケジュール

- 1号機タービン建屋の循環注水ラインとの切り離しスケジュール



- 滞留水処理に関する主な取組

